

《担当者名》 近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp 松本由起子 Shaun Hoggard

【概要】

この科目は、健康科学や医療分野の英語読解力を養うための基礎を身につけると同時に、自分の研究を英語でプレゼンテーションする場合にも役立つような、オーラル・スキルを習得する。

【学修目標】

1. 基本的な医療英語の意味を理解し説明できる。
2. 英語論文の内容を理解し発表できる。
3. 英語によるプレゼンテーションを適切に実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	医療に関する情報を英語で得る	インターネットを使い、医療にかかわる情報を日本にしながら日常的に英語で得る手段や、その際に必要な基礎的英語力を身につける方法を、日常に組み込んでいく。	松本由起子
6～10	医療英語論文を読む	各自の研究領域の医療英語論文を読み、内容を理解し、要旨の記述と発表を行う。	近藤里美
11～15	Academic presentations	Study appropriate academic presentation forms, develop effective skills, practice presenting research.	Shaun Hoggard

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（作成資料および発表内容50%）と講義への参加状況（質疑・応答・議論への参加態度）50%

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

- ・英英辞典は毎回の講義に必携
- ・各自の研究に関連する分野文献等を調査

【学修の準備】

- ・各自の研究に関連する文献論文を検索し学習すること（80分）
- ・毎回の講義の英語表現の復習や一般的語彙の習得（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

松本由起子（通訳・翻訳）

【実務経験を活かした教育内容】

海外の医療機関での実務経験を活かし講義を行う。

通訳・翻訳者としての実務経験を活かし講義を行う。